

別紙 4

「塩谷町公共交通網形成計画（素案）」に関するパブリック・コメントの結果

◇ 意見等の募集期間：平成29年2月20日～平成29年3月16日

◇ 意見等の受付件数：3人7件

（提出方法の内訳：ファクシミリ1人持参2人）

実施機関：（企画調整課）コメント

企画調整課では、平成29年2月20日～平成29年3月16日までの期間、「塩谷町公共交通網形成計画（素案）」について、皆様からの意見を募集いたしました。その結果、3人の方から3件のご意見をいただきました。貴重な意見等誠にありがとうございました。

「塩谷町公共交通網形成計画」では、既存の公共交通資源（路線バス、福祉ワゴン、スクールバス）に関して利用促進や利便性向上のための道しるべとなる計画であり、具体的な事業内容につきましては、皆様からのご意見は、今後具体的な事業を実施するにあたり参考にして参りたいと存じます。

なお、いただいたご意見に対して次のような考え方をまとめましたので、公表いたします。

1. 提出された意見等を内容により整理し、意見等の概要として掲載しています。

| 番号 | ご提出いただいた意見等の概要                                     | 町の考え方   |
|----|--|---|
| 1  | この計画では、既存の枠の中でしか検討されていないが、さくら市方面の交通手段についても検討してほしい。 | 町の財政負担を現状で抑えつつ、利用率が低い既存の公共交通資源（路線バス、福祉ワゴン、スクールバス）の利用促進を図り利便性を高めていくことが最優先課題であると感じております。<br>そうした趣旨をご理解いただき新しい路線の確保等は、既存の公共交通がより利用促進が図れた際、財政負担の状況を見て、次のステップとして検討させていただきます。 |
| 2  | 用語について理解しにくい。                                      | 分かりにくい表現で申し訳ありません。用語解説を追記させていただきます。   |
| 3  | 利用者への運賃補助や乗継証明等を発行し1回の料金支払で目的地へ行けるようにしてはどうか。       | 具体的な運賃や乗り継いだ時の料金等については、利用促進のための具体的な事業を実施の際、参考とさせていただきます。  |

|   |  |  |
|---|--|--|
| 4 | <p>小学校中高学年で公共交通を利用した生活スタイルを考える機会を設け、中学3年生までに修得されるべきと考える。その他の具体例については一過性のもので不要であると考え。公共交通利用の教育に力をいれるべき。</p> | <p>町としても、継続した公共交通利用の教育が必要と感じ、施策1-5において事業内容を検討しております。</p> <p>同時にアンケートやインタビュー等で学生だけでなく、高齢者の方も含めどの年齢層からも利用の仕方がわからないというご意見が多々あることから、継続的に乗り方教室等を実施することは利用促進につながると考えております。</p> |
| 5 | <p>事業者だけでなく、地域住民が協力し、自分達の停留所と認識できるよう努力してほしい。</p>   | <p>町としても本計画の中で、特に拠点となるところから優先して安心して利用しやすい環境を整えていくよう考えております。</p>  |
| 6 | <p>交通拠点周辺の循環交通を実施してほしい。</p>  | <p>具体的なルートの見直しの時期にいただきましたご意見を参考とさせていただきます。</p>   |
| 7 | <p>車は小型で、30分前までに電話予約ができ、誰もが利用できるデマンド方式のワゴンを運用してほしい。</p>  | <p>今後は既存の福祉ワゴンの運用を見直し、年齢制限、利用制限を緩和し、町民誰もが利用できるデマンドワゴンとしての運用を検討しておりますので、いただいたご意見を参考に効率よく利用しやすいものにしていきます。</p>  |

◇問い合わせ先：企画調整課

TEL：0287 - 45 - 1112

FAX：0287 - 45 - 1840

電子メール：[kikaku@town.shioya.tochigi.jp](mailto:kikaku@town.shioya.tochigi.jp)